



良質米生産へ健苗作り徹底 ～水稲育苗巡回実施～

水稲育苗の初期成育の確認や農家相談に配慮するため、4月21日から管内3地区でハウス巡回を行ったほか、水稲採種圃巡回を行いました。苗の適正管理に向けて、緑化期のハウス指導と、田植え前の2.5葉～3葉期頃のハウス指導を行ったもので、営農指導員等が各生産者の育苗ハウスを巡回して、床土や苗の状態、温度管理等について細かく確認、指導。気温の上昇とともに苗焼けや徒長苗、病害などを防ぐために徹底した温度管理で健苗育成を呼び掛けました。



健苗育成を呼び掛けた育苗巡回



7年度事業計画を決議した役員総会



児童らの登校を見守る支店職員

児童の登校安全見守り ～ニツ井支店、街頭指導～

ニツ井支店は4月7日から春の全国交通安全運動期間に合わせて、能代市役所ニツ井町庁舎前の国道沿いで交通安全街頭指導を行いました。支店職員が横断歩道のない道路に立ち、登校する小学生が安全に渡れるよう先導し、交通安全を呼び掛けました。地域との絆づくりを図ることを目的とした「支店を拠点とした協同活動」の一環としてスタートし11年目。今後とも地域と支店を結び取り組みとして、地域の交通安全を呼び掛ける活動に取り組んでまいります。

「あきた白神ねぎ」更なる品質向上へ ～ねぎ部会役員総会～

白神ねぎ部会は4月8日、部会役員による役員総会を開催し、令和7年度事業計画など原案通りに可決しました。令和7年度は一層の面積拡大を目指すため、労働時間・コスト削減を狙った育苗・定植技術（プラグポット苗・自動移植機）の導入と検討を行うこととしております。また、高温対策を万全に行いながら「あきた白神ねぎ」ブランドとしての品質向上と高品質なネギ作りと更なるロット拡大に取り組むことを確認しました。任期満了による役員改選では大塚和浩部会長が退任し、新部会長に菊池正さんが就任しました。他の役員は次のとおり。

▽副部長	後藤 孝夫
▽監事	伊藤 隆一
▽役員	平川 雄己男 児玉 孝仁 佐々木 一也
▽会 計	石井 昇

代次グリーンファーム常盤 あさかわファーム

地域住民に好評 ～コーヒーサロン触れ合いの場に～

JA助けあい組織「いきいき会」は4月15日、年金受給日に合わせて、本店でコーヒーサロンを開催しました。地域の憩いの場をつくらう開催し今回が3回目。徐々に地域住民に浸透しており、来店した組合員や地域住民にコーヒーやお茶を振る舞いながら、来店者は気軽にくつろぎ話に花を咲かせておりました。会場には簡単に作れるスラップ体験コーナーを設けたほか、クラフト同好会の作品展コーナーも設置し、来店者の目を惹きつけました。



本店1階ホールでくつろぐ地域住民

生産基盤強化誓う ～山うど部会総会～

山うど部会総会と販売実績検討会が4月10日開かれ、令和7年度の事業計画報告等が行われました。総会では令和7年度の重点活動として、商標登録を活かした山うど販売キャンペーンとしてUDOIグランプリの開催等に力を入れることとしております。また、3月に実施した山うど共進会受賞者の表彰を行ったほか、役員改選も行われ、部会長には藤田清樹さんが再任され、更なる品質向上で生産基盤の強化を図ることを確認しました。



適正管理と品質向上で生産基盤の強化を確認



JA共済優績組合県本部表彰を受ける工藤組合長

共済で優績表彰 ～共済スタートフォーラム～

「JA共済事業スタートフォーラム2025」が4月24日、秋田市で開催され、当JAが優秀な普及活動を実践したことにより優績表彰を受賞しました。このスタートフォーラムは前年度に優秀な成績を収めた組合やライフアドバイザー・スマイルサポーターの方々に表彰しているものです。令和7年度の共済事業でも組合員・利用者の負託に応え、満足度向上や保障充足に継続して取り組み、寄り添う活動を継続してまいります。



魅力ある店舗づくりを計画した総会

魅力ある販売を計画 ～はまなす産直会総会～

農産物直売所「みょうが館」を運営している「はまなす産直会」は4月9日、総会を開催し、令和6年度の実績を振り返り、新年度の活動計画を決定しました。総会には会員など約40名が出席。令和6年度は直売フェスタや収穫感謝祭など各イベントで1億3470万の実績となり計画を上回る販売額となりました。令和7年度は、さらにイベント・出張販売で消費者と情報交換をしながら、顔の見える魅力ある販売を行い、消費者に必要とされ愛される直売所をめざします。